

パネル据付説明書

PJF012D001



ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。

警告

- 配線は、確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

お願い ＜自動昇降パネル＞

- ・吸込グリルの動作範囲の周辺および下方30cm以内に障害物を置かないでください。
- ・電源投入前にパネルを取り付けた場合はグリルの昇降動作はできません。
- ・電源投入前にグリルを収納する場合は、付属のクランプで仮固定する事ができます。
- ・電源投入後は、グリルに付属のクランプが外してあることを確認してから昇降動作を行ってください。
- ・グリル取付後の初回はリモコンで「上げる」の操作を行い、グリルを正規位置に収納してください。
(マイコンが収納位置を記憶します。)
- ・ワイヤは、折り曲げ、ねじり、噛み込み等により傷つけたり、たばこ等の火が触れないようにしてください。

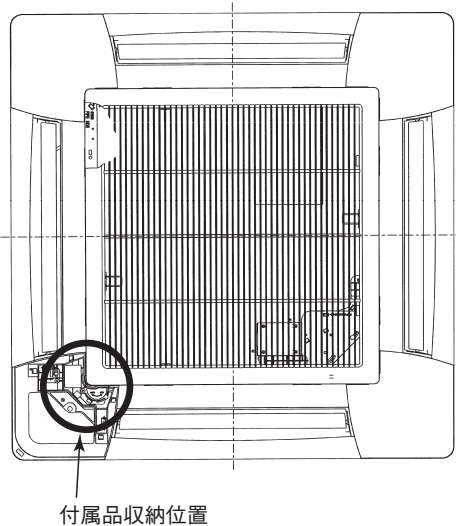
① 据付のまえに

- ・据付はこの説明書に従って正しく行ってください。
- ・次の項目を確認してください。

- パネル・リモコンのタイプ
- 付属品

付属品			
ボルト		4本	パネル取付用
ストラップ		4本	コーナパネル落下防止用
クランプ		4本	吸込グリル仮止め用 (自動昇降パネルのみ)
ネジ		4本	吸込グリル仮止めクランプ固定用 (自動昇降パネルのみ)

注：付属品はコーナパネルを外した位置にあります。



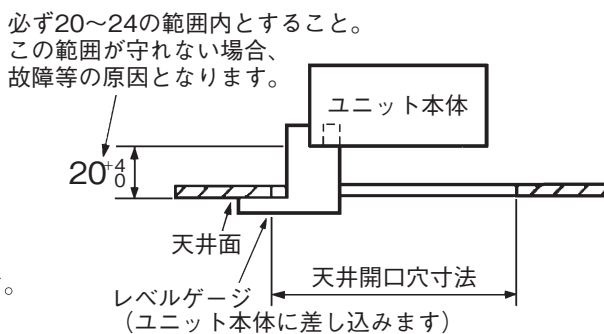
付属品収納位置

② 本体の取付レベルの確認

- ・ユニット本体の据付説明書と共にお読みください。
- ・ユニット本体に同梱されているレベルゲージで本体高さ及び天井開口寸法が正しいことを確認してください。
- ・ユニット本体と天井材との取付レベルを確認してください。
- ・ユニット本体付属のレベルゲージを吹出口にセットし、本体の吊込み高さを調整してください。
- ・レベルゲージはパネル取付前に取り外してください。

●注意
ユニット本体と天井材との高さは、パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからない高さにしてください。
パネルが変形し破損の恐れがあります。

- ・本体取付高さはパネル取付後、コーナ開口部より微調整ができます。
(詳細は ⑥パネルの取付 をご参照ください。)

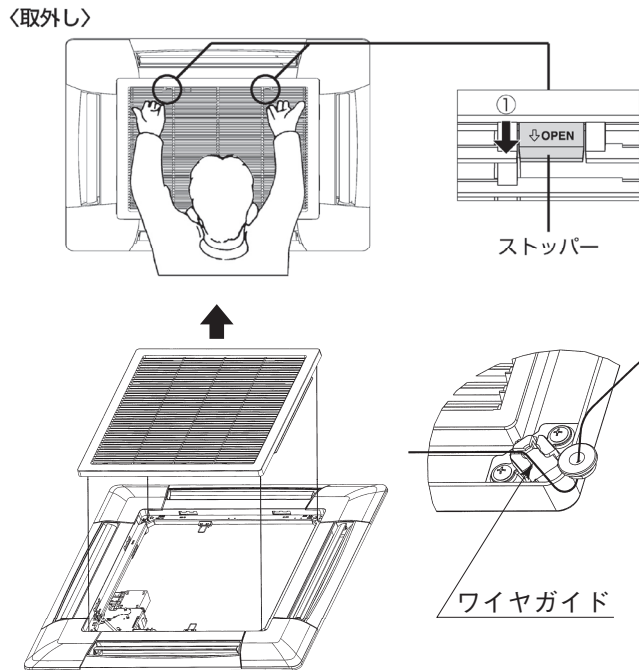


必ず20～24の範囲内とすること。
この範囲が守れない場合、
故障等の原因となります。

③ 吸込グリルの取外し

＜標準パネルの場合＞

1. 吸込グリルのストッパー（2箇所）に指をかけて「OPEN」の方向（矢印①）に押したままグリルを下方へ引くと吸込グリルが開きます。
2. 吸込グリルが開いた状態で吸込グリルのヒンジ部を化粧パネルから外します。



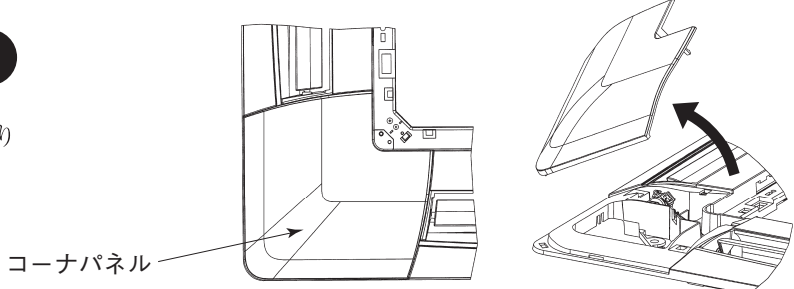
＜自動昇降パネルの場合＞

1. 吸込グリルを少し持ち上げて、吸込グリルを開けます。
2. 吸込グリルの4コーナに取付けてあるワイヤガイドを外側にスライドさせて外してください。

●注意
吸込グリルはゆっくり持ち上げてください。
ワイヤおよびワイヤガイドが破損する恐れがあります。

④ コーナパネルの取外し

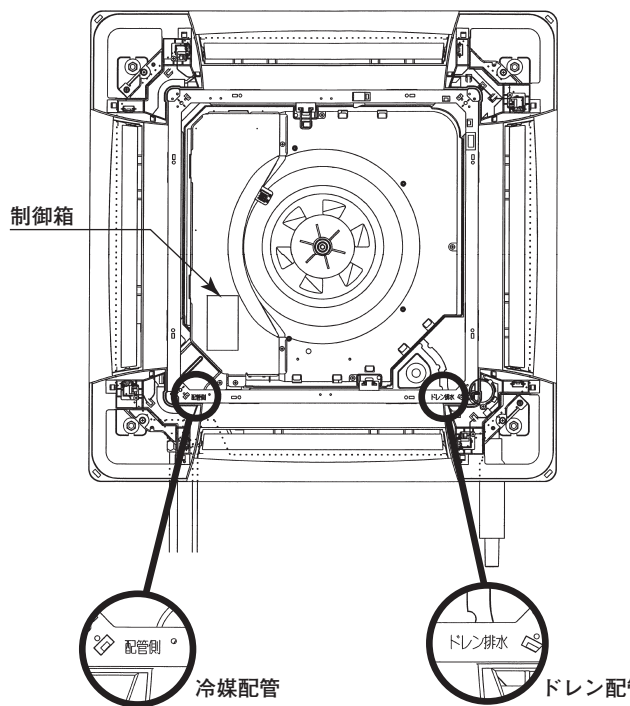
- ・コーナパネルを矢印の方向へ引き上げて取り外してください。(4コーナとも)



⑤ パネルの取付方向

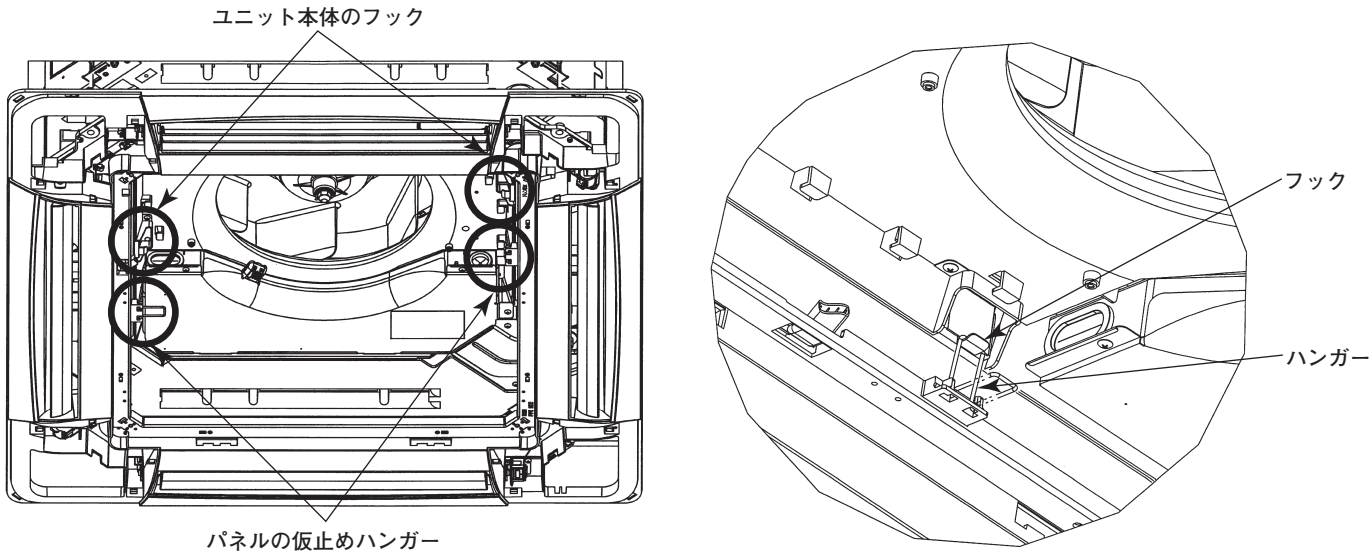
1. パネルの取付方向はユニット本体に対し方向性があります。
 - ・パネルは、右図に示す方向で取付けてください。
 - ・パネル吸込部「ドレン排水」と本体ドレン配管の位置を合わせてください。
 - ・パネル吸込部「配管側」と本体冷媒配管の位置を合わせてください。

●注意
・右図以外の方向で取付けると、風漏れの原因となり、また電気配線の接続ができません。



⑥ パネルの取付

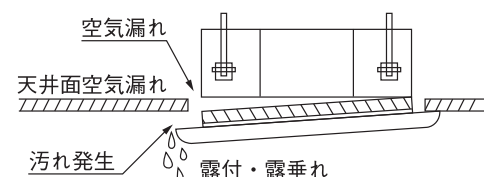
1. パネルの仮止め
 - ・パネルの仮止め用ハンガーを起こします。(2箇所)
 - ・パネルの仮止め用ハンガーをユニット本体のフックにかけて、パネルを本体に吊るします。



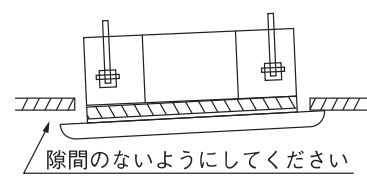
2. パネルのユニット本体への固定
 - ・パネル付属のボルト4本を用いて、ユニット本体に締め付けてください。

●注意

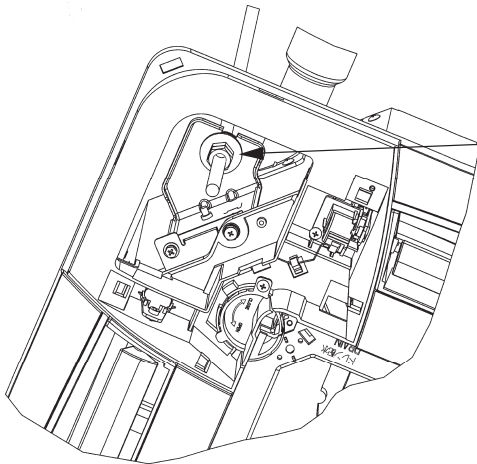
- ・吊りボルトの締め込みが不十分な場合、下図のような不具合発生の原因となりますので確実に締め込んでください。



- ・吊りボルトを締め込んでも天井面と化粧パネルとの間に隙間ができる場合は、室内ユニット本体の高さを再調整してください。



- ・室内ユニット本体の水平度、ドレン配管などに影響がでない程度であれば化粧パネルを取付けたまま、ユニット本体の据付高さを微調整できます。

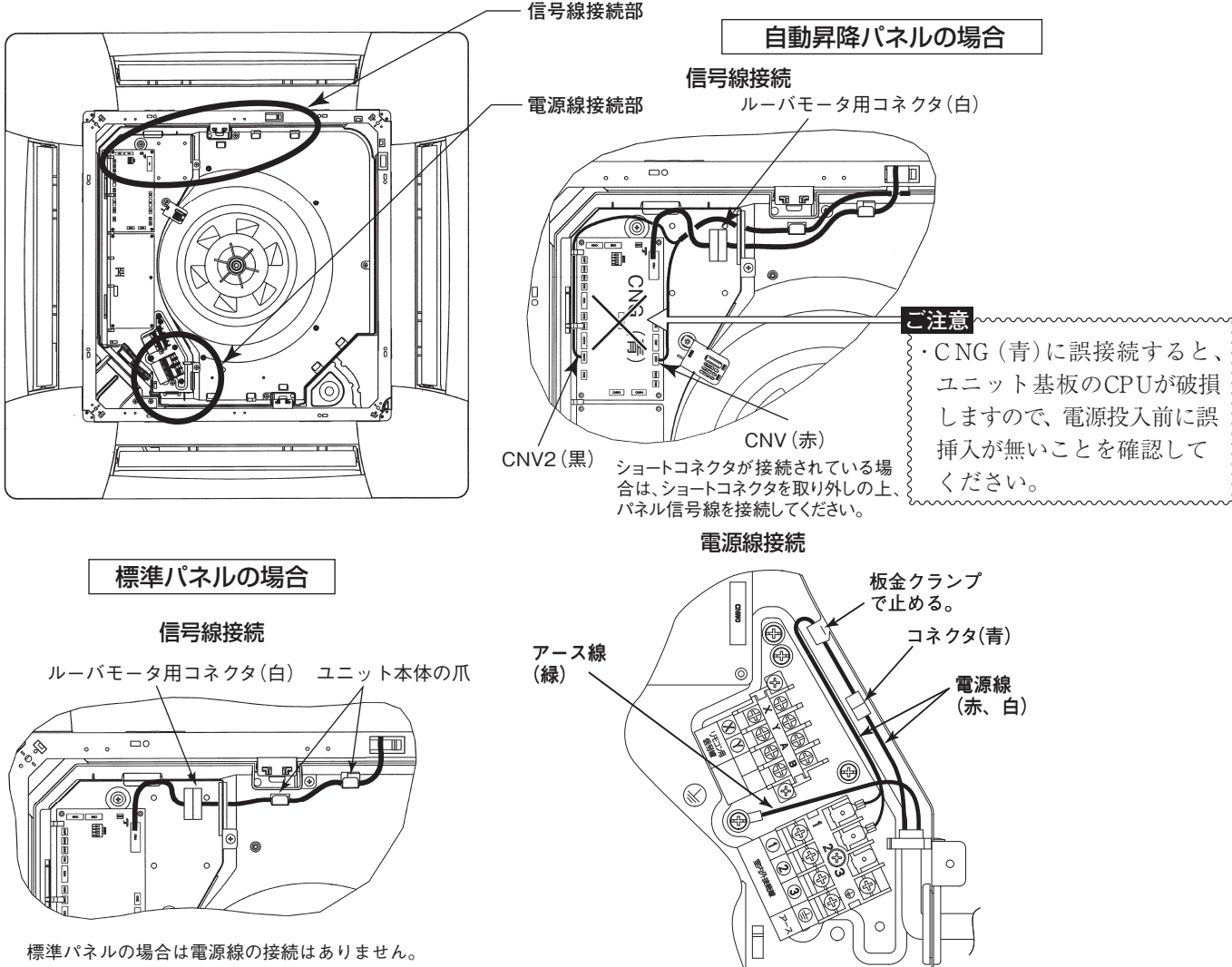
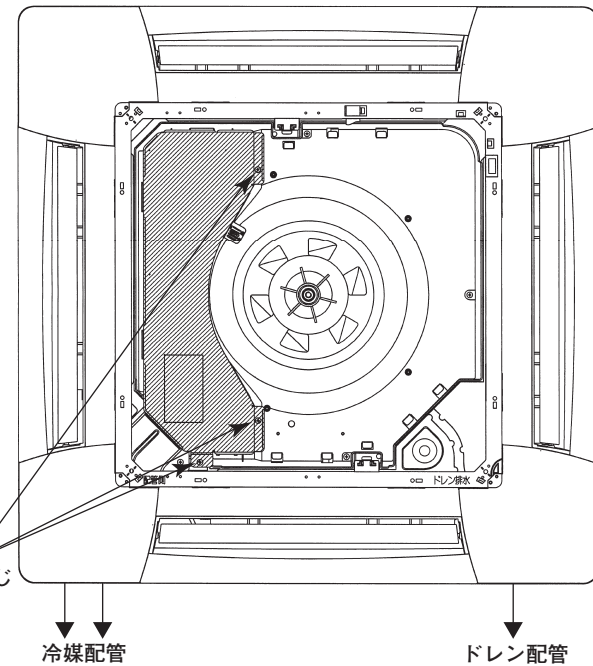


●注意

- ・パネル取付の際、パネルに無理な荷重がかからないよう、ユニット据付高さを調整してください。
パネルが変形し、吸込グリルが収まらないおそれがあります。

⑦ 電気配線

1. ねじ(3本)を外して、ユニット本体の制御箱の蓋(斜線部)を取外してください。
2. ルーバモータ用コネクタ(白 20P)を接続してください。
 - ・配線はユニット本体の爪を利用して固定してください。
 - ・コネクタは、制御箱内に入れてください。
3. 自動昇降パネルの場合
 - ①電源線(赤、白)をユニット本体の電源端子台1番, 2番に挿入してください。アース線(緑)を②に接続してください。
 - ②信号線をユニット本体の基板のコネクタCNV(赤), CNV2(黒)に挿入してください。(2箇所)下図の如く誤接続に注意して挿入してください。
 - ・配線はユニット本体の爪を利用して固定してください。
 - ・コネクタ接続の際、ワイヤを巻き込まないように注意して接続してください。
 - ・CNVコネクタにショートコネクタが接続されている場合は、ショートコネクタを取り外しの上、パネル信号線を接続してください。
4. 制御箱の蓋を取付けてください。

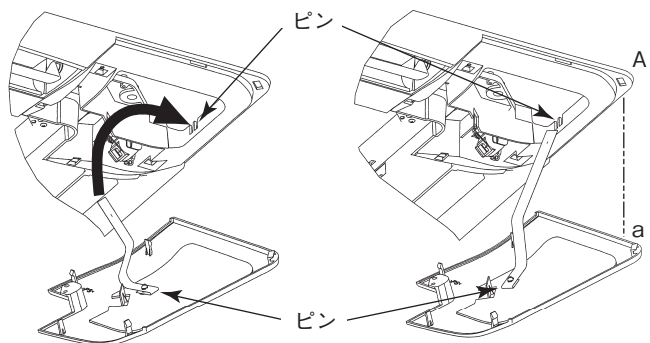


標準パネルの場合は電源線の接続はありません。

裏面へつづく ➡

⑧ コーナパネルの取付

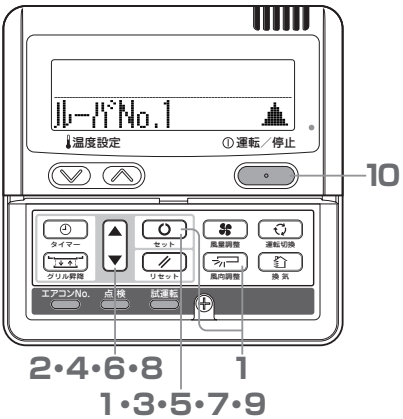
1. 付属のコーナパネル落下防止用ストラップをコーナパネルのピンに折り返して引っ掛けてください。
2. コーナパネルに取り付けたストラップの反対側をパネルのピンに引っ掛けてください。
3. コーナパネルの a 部をパネルのA部に挿入してから、コーナパネルのつめ4箇所をはめてください。



⑨ 風向設定のしかた

ワイヤードリモコンを使用することで、吹出口のルーバの動作範囲を、変更することができます。本モードで上限位置と下限位置を設定すると、ルーバは、設定された上限位置と下限位置の間で動作します。各ルーバ毎に個別の動作範囲の設定が可能です。

- ① エアコンを停止させて**「セット」**ボタンと**「風向調整」**ボタンを同時に3秒以上押す
リモコンに接続されている室内ユニットが1台の場合、下記の表示がでます。
その後、4項へお進みください。
「データ確認中」→「ルーバNo.1 ▲」
リモコンに接続されている室内ユニットが複数の場合、下記の表示がでます。
風向設定をする室内ユニットを選択します。2項へお進みください。
「室内機選択 ◆」→「内 000 ▲」



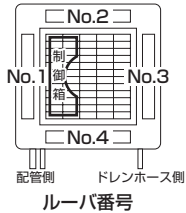
- ② **▲**または**▼** ボタンを押す
風向設定する室内ユニットを選択してください。
【例】「内 000 ▲」⇨「内 001 ◆」⇨「内 002 ◆」⇨「内 003 ◆」

- ③ **「セット」**ボタンを押す
選択した室内ユニットが確定します。
【例】「内 001」→「データ確認中」→「ルーバNo.1 ▲」

- ④ **▲**または**▼** ボタンを押す
設定するルーバ番号を選択してください。
【例】「ルーバNo.1 ▲」⇨「ルーバNo.2 ◆」⇨「ルーバNo.3 ◆」⇨「ルーバNo.4 ▼」

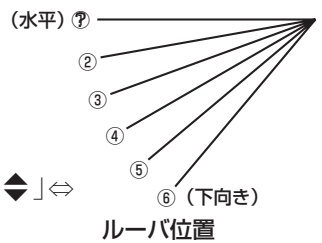
お知らせ

設定したいルーバNoがわからない場合は、仮に、任意のルーバの上下限位置を設定してください。設定完了後、設定したルーバが停止位置から下限位置まで1度動きますので、ルーバ位置が確認できます。ルーバ位置確認後、再度、設定したいルーバNoを選択してください。



- ⑤ **「セット」**ボタンを押す
ルーバ作動範囲の上限位置を選択します。
【例】「No.1 上位置2 ◆」←現在の上限位置を表示します。

- ⑥ **▲**または**▼** ボタンを押す
ルーバの上限位置を選択します。
位置1が最も水平で、位置6が最も下向きとなります。
「位置ー」は、出荷時の位置に戻すための番号です。
出荷時状態に戻す場合は、「位置ー」を選択してください。
【例】「No.1 上位置1 ▼」⇨「No.1 上位置2 ◆」⇨「No.1 上位置3 ◆」⇨「No.1 上位置4 ◆」⇨「No.1 上位置5 ◆」⇨「No.1 上位置6 ◆」⇨「No.1 上位置ー▲」



- ⑦ **「セット」**ボタンを押す
上限位置が確定し、設定位置を2秒間表示します。その後、下限位置選択表示となります。
【例】「No.1 上2」←確定内容を2秒間表示
↓
「No.1 下位置5 ◆」←現在の下限位置を表示します。

- ⑧ **▲**または**▼** ボタンを押す
ルーバの下限位置を選択します。
「位置1」が最も水平で、「位置6」が最も下向きとなります。
「位置ー」は、出荷時の位置に戻すための番号です。
出荷時状態に戻す場合は、「位置ー」を選択してください。
【例】「No.1 下位置1 ▼」⇨「No.1 下位置2 ◆」⇨「No.1 下位置3 ◆」⇨「No.1 下位置4 ◆」⇨「No.1 下位置5 ◆」⇨「No.1 下位置6 ◆」⇨「No.1 下位置ー▲」

- ⑨ **「セット」**ボタンを押す
上限位置、下限位置が確定し、設定位置を2秒間点灯し、設定完了となります。
設定完了後、設定したルーバNoのルーバが、停止位置から下限位置まで移動し、その後停止位置に戻ります。
(但し、リモコンが停止モードであっても、ファン残留運転等で、室内ユニットが運転している場合は、本動作はしません。)
【例】「No.1 上2下6」←確定内容を2秒間表示
↓
「設定完了」
↓
「ルーバNo.1 ▲」←選択したルーバNo.表示へ戻る。

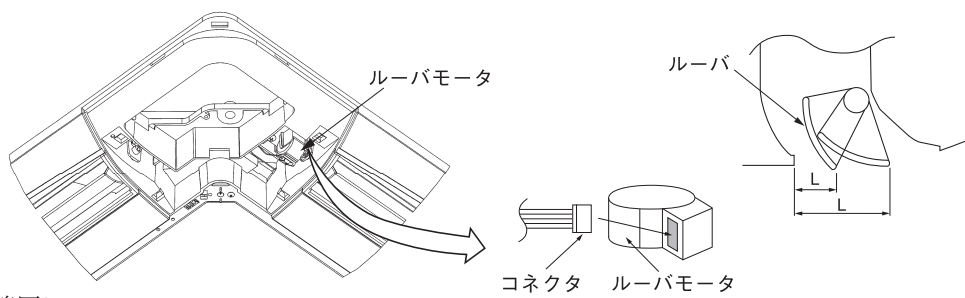
- ⑩ **「運転/停止」**ボタンを押す
風向設定モードを終了し、元の表示に戻ります。

ご注意

- ・上限値と下限値を同じ位置に設定すると、ルーバはその位置で固定され、オートスイングをしても動きません。
- ・設定の途中で、**「リセット」**スイッチを押すと、1回前の表示に戻ります。また、設定の途中で、**「運転/停止」**スイッチを押すと、本モードを終了し元の表示に戻ります。但し、設定が完了していない内容は無効となりますのでご注意ください。
- ・リモコンが親子接続されている場合、子リモコンでは、風向設定操作はできません。

ルーバの風向を手動で固定する場合は、下記に従って実施してください。

1. 元電源を切ります。
2. 固定したい吹出口のルーバモータのコネクタを外します。外したコネクタ部はビニールテープで電気絶縁してください。
3. 固定したい吹出口の上下風向ルーバを手でゆっくり動かし、下表の範囲内で上下風向を設定します。



<設定範囲>

上下風向の目安	水平 0°	下吹 45°
L寸法 (mm)	43	26

※26～43mmの間は任意で設定されてもかまいません。

ご注意

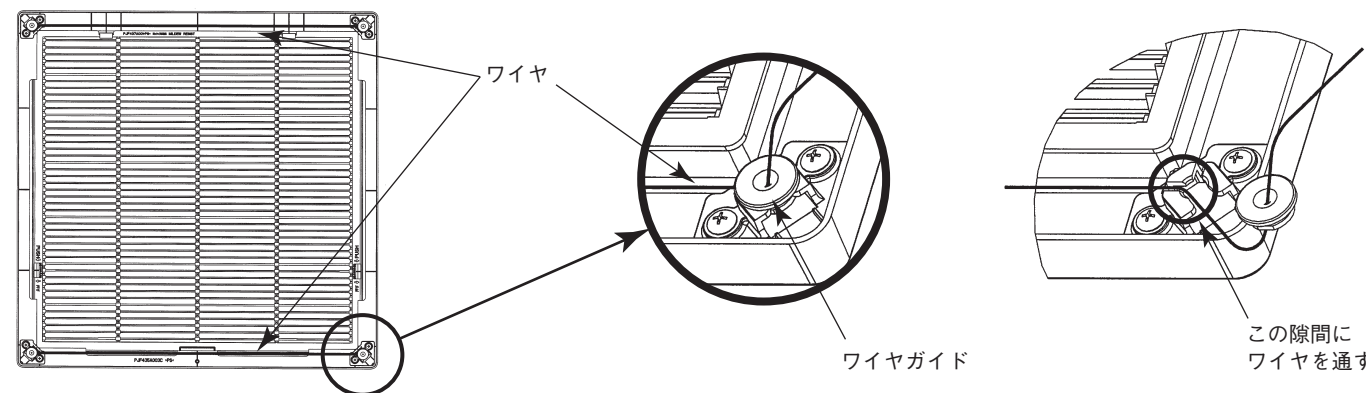
- ・固定した上下風向はリモコンによる操作およびすべての自動コントロールが無効になります。
- ・範囲外の設定はしないでください。露たれ、露付、天井面の汚れ等の発生またはユニットが正常に運転しない原因になります。

<自動昇降パネルの場合>

1. 吸込グリルの方向を決定してください。
2. ワイヤを通してあるワイヤガイドを吸込グリルの4コーナの取付部に固定して装着します。
3. ワイヤガイドを吸込グリルに外側から内側にスライドさせながら装着してください。
装着の際、取付部の隙間をワイヤが通過する様にワイヤの向きに注意して確実に取り付けてください。
4. ワイヤガイド装着後、ワイヤの曲がり・ねじり・噛み込みがないことを確認してください。

ご注意

ワイヤガイドは確実に装着してください。確実に装着されていないと、グリルの自動昇降できなくなったり、グリルが落下する恐れがあります。



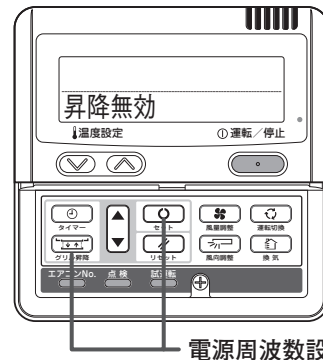
⑪ 自動昇降パネルの設定

<グリル自動昇降の設定>

○ワイヤードリモコンの場合

ご注意

ワイヤードリモコンで自動昇降パネル使用時は、取付時必ずグリル昇降有効設定を行ってください。工場出荷時はグリル昇降「無効」になっていますので、グリル昇降ができません。据付地域の電源周波数に合わせ、50Hz地区または60Hz地区のどちらかを選んで設定してください。



電源周波数設定

- ① エアコン停止状態で、**「セット」**ボタンと**「グリル昇降」**ボタンを同時に長押ししてください。
- ② **▼**または**▲**ボタンにより設定を選択してください。表示：「昇降無効」⇨「有効50Hz」⇨「有効60Hz」
- ③ **「セット」**ボタンを押す。表示が「設定完了」となります。その後リモコンは停止状態になります。

○ワイヤレスキットの場合

ご注意

ワイヤレスキットで自動昇降パネル使用時は、電源周波数の設定をワイヤレスリモコンを用いて必ず行ってください。(初期設定は60Hz)



電源周波数設定

- ① **「フィルター」**ボタンと**「風量」**ボタンを同時に3秒以上押すと周波数設定モードになります。
- ② 設定温度表示部に現在の周波数設定が点滅表示されます。
- ③ **▲**ボタンを押すと“60”表示となり、**▼**ボタンを押すと“50”表示となります。
- ④ 周波数設定後、**「フィルター」**ボタンを押すと、周波数が確定され、室内ユニットにデータが送信されます。約2秒間設定された周波数が点灯した後、元の表示に戻ります。

<グリル降下長さの設定>

ワイヤードリモコンを用いて10cm刻みに4mまで昇降長さを設定することができます。

自動昇降パネル取付時、昇降長さを下記方法で設定してください。(工場出荷時は2.0m設定)

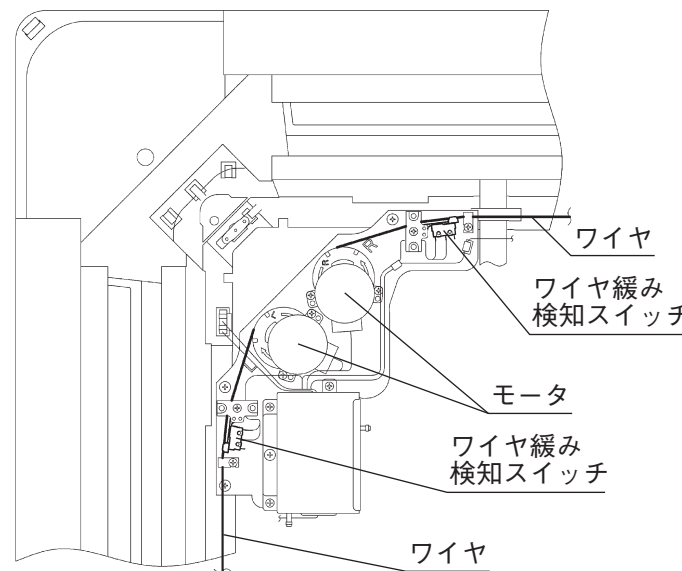
【操作方法】

- ① **「グリル昇降」**ボタンを押す。
リモコンに接続されている室内ユニットが一台の場合、表示が「◆で昇降する」となります。⑤番へお進みください。
- ② リモコンに接続されている室内ユニットが複数台の場合、接続されている室内ユニットの中で、最も小さい室内アドレスが表示されます。【例】「室内機選択 ◆」→「内 000 ▲」(点滅)
- ③ **▲▼**ボタンで、表示したい室内アドレスを選びます。
- ④ **「セット」**ボタンにより確定します。(室内アドレスが点滅から点灯に変わります。)
「全台▼」を選択すると、接続されている室内ユニット全台が、同一の設定となります。
「内 001」(選択した室内アドレスを2秒間点灯)→「◆で昇降する」
- ⑤ 「◆で昇降する」表示の時に、**「セット」**ボタンを押すと、「データ確認中」と表示されます。
「データ確認中」(データを読み込む間、点滅表示)→「降下2.0m」(現在の設定値を表示)
- ⑥ **▲▼**ボタンにより降下長を選びます。
- ⑦ **「セット」**ボタ◆により確定します。
選択した降下長を室内ユニットへ送信する間点灯し、「◆で昇降する」表示に戻ります。
【例】「降下1.5m」(室内ユニットへ送信する間点灯)→「◆で昇降する」
- ⑧ **「運転/停止」**ボタンを押すと、降下長設定モードを終了します。(設定の途中で、**「運転/停止」**ボタンを押しても終了します。但し、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。)

- ・設定の途中で、**「リセット」**ボタンを押すと、一回前の設定画面に戻ります。但し、設定が完了していない内容は無効となりますので、ご注意ください。
- ・設定内容は、コントローラに記憶されていますので、停電しても保存されます。
- リモコン1台で2台以上の室内ユニットを運転する場合は、室内ユニット毎に設定が必要です。
- リモコン2台で室内ユニットを運転する場合は、親リモコンのみ操作可能です。(子リモコンからの操作はできません。)

ご注意

<ワイヤ緩み検知機構について>
自動昇降パネルには、ワイヤの絡まり防止のため、「ワイヤ緩み検知機構」を装備しています。グリルを吊ったワイヤが緩んだ場合、ワイヤ緩み検知スイッチが働き、自動昇降用モータが自動停止します。パネル据付後、グリルが動かない場合、「ワイヤ緩み検知機構」が作動している可能性がありますので、据付時にワイヤの噛み込み、絡まり等が無いのか、ワイヤ経路をご確認ください。



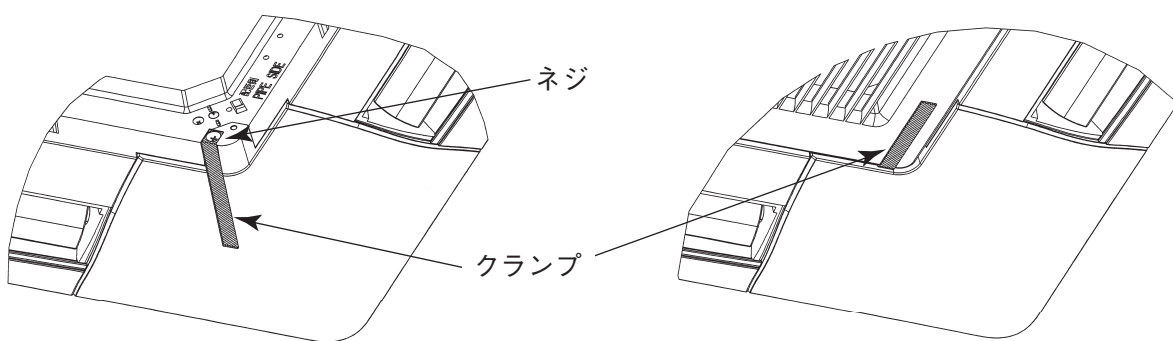
⑫ 電源投入前の吸込グリルの仮固定 <自動昇降パネルのみ>

電源投入前は吸込グリルの自動昇降はできません。

1. 電源投入前にグリルを収納したい場合は、付属のクランプでグリルを仮止めすることができます。
2. パネルの4コーナに付属のクランプを図のようにネジ止めしてください。(4箇所とも)
3. ワイヤを折り曲げたり、かみ込んだりしないように注意しながら、持ち上げパネルに収納してください。
4. 取付けたクランプを図のようにグリル側に折り曲げ、グリルを固定してください。

ご注意

クランプを装着したまま昇降動作を行った場合、グリルの昇降装置が故障する恐れがあります。



⑩ 吸込グリルの取付

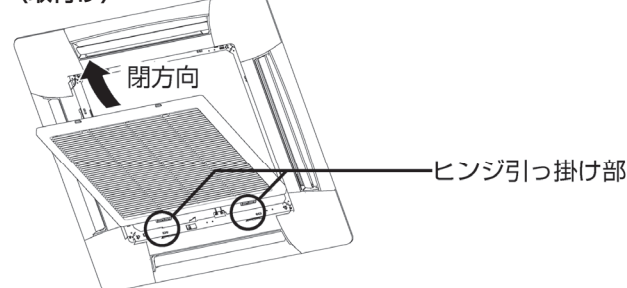
パネルと吸込グリルには方向性がありません。

<標準パネルの場合>

吸込グリルの取付方法は ③ 吸込グリルの取外し の手順を逆に作業してください。

1. 吸込グリルのヒンジをパネル本体ヒンジ挿入穴に取付けてください。(グリルのヒンジは4辺どこでも取付可能です。)
2. 吸込グリルのヒンジを取付け後、グリルのストッパー (2箇所) を「OPEN」の方向へ押したまま、閉じてください。
両方のストッパーから「カチッ」と音がしたことを確認してください。

<取付け>



ご注意

- ・グリルの取付は、必ずヒンジ側から行ってください。
- ・グリルは確実に取付けてください。取付が不十分ですと落下する恐れがあります。
- ・ストッパーが変形・破損した場合は、速やかに修理依頼し、交換してください。グリルが落下する恐れがあります。